

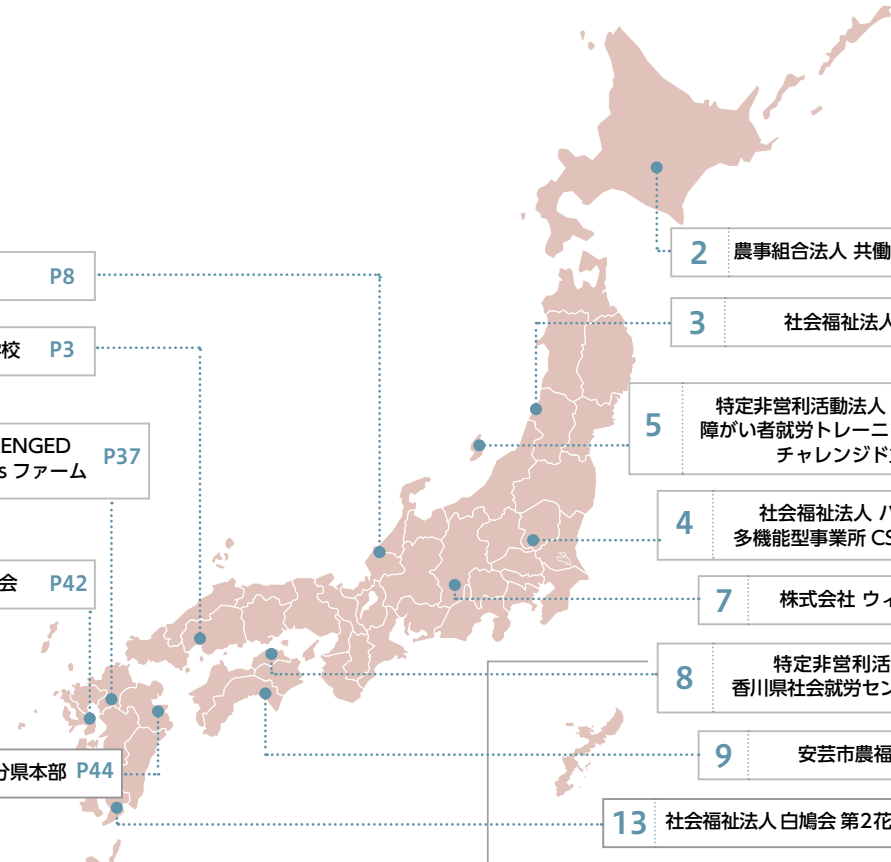
みんなの声

この冊子は、農福連携の現場で農作業等に取り組んでいる障害者等の方々が、取り組むことにより、どのように感じているのか、その生の声を集めたものです。



発行日：令和6年11月29日

目次



A map of Japan is shown in a light brown color, with blue dots indicating the locations of various organizations. Dotted lines connect these dots to callout boxes containing the organization's name and page number. The callouts are arranged as follows:

- 6 株式会社 農楽里 P8
- 1 広島県立広島特別支援学校 P3
- 10 一般社団法人 THE CHALLENGED 就労継続支援 A 型事業所 K's ファーム P37
- 11 社会福祉法人 南高愛隣会 P42
- 12 全国農業協同組合連合会大分県本部 P44
- 2 農事組合法人 共働学舎新得農場 P4
- 3 社会福祉法人 月山福祉会 P5
- 5 特定非営利活動法人 立野福祉会 障がい者就労トレーニングファーム チャレンジド立野 P7
- 4 社会福祉法人 パステル 多機能型事業所 CSW おとめ 表紙
- 7 株式会社 ウィズファーム P20
- 8 特定非営利活動法人 香川県社会就労センター協議会 P21
- 9 安芸市農福連携研究会 P35
- 13 社会福祉法人 白鳩会 第2花の木ファーム P48

農福連携とは

～障害を持った人たちが農業分野で活躍しています！～

障害を持った人たちが得意な作業を通じて、農業分野で活躍することで、自信や生きがいにつながります。土や自然に触れて、作物を育てることで、体力がついたり、表情が明るくなったりといった効果も見られます。また、人手不足に悩む農業現場では貴重な人材になっています。このような「農福連携」の取組が日本各地で進んでいます。

さらに、農福連携等の更なる展開や普及に取り組んでいくため、11月29日（November（ノウ）29（フク））が「ノウフクの日」に制定されました。



ちてきしょうがいぶもんこうとうぶ
知的障害部門高等部の生徒の皆さん

〈ノウフク連携をしてよかったこと〉

- ・私たちが交流することで小学校の畑でちゃんと野菜が収穫できた。
- ・他の高等学校と交流することができて、土壌のことやレシピなど、いろいろなことが学べた。
- ・野菜の販売で地域の人たちの笑顔が見られたとき。
- ・小学生と仲良くできて、協力して作業ができてよかった。
- ・普段関わることのない人たちと、農業を通じて一緒に作業ができて楽しかったし、よかった。

〈ノウフク連携で頑張っているところ、気を付けているところ〉

- ・他の高等学校との交流を通して学んだことを実践に生かそうと頑張っている。
- ・地域の人たちへ笑顔で野菜を渡すことに気を付けている。
- ・水やりや肥料のあげ方に気を付けている。
- ・小学生との交流のとき、言葉遣いや農業が楽しいと思ってもらえるように頑張っている。
- ・小学生にもっと教えられるように学校での作業を頑張っている。
- ・販売の時に地域の方に分かりやすく野菜の特徴を伝えるために、話したり、絵や文字にしてみたりして工夫している。
- ・笑顔や大きな声での販売を心掛けている。



農事組合法人 共働学舎新得農場

いとうひとし
伊藤仁志さん

自分は今68才になりました。25才の時に統合失調症になりました。発病のきっかけは発病当時は分かりませんでした。今から振り返ってみてようやく全貌が解ったという感じです。

最近、あるところで書いた事がありますが、『社会人になって4年目の時「自分の生き方はこれで良いのだろうか」と自問するようになると、生への恐怖が沸き起こってきた。絶望である。』

原因の解らない不安発作、不眠、イライラ、仕事に対するやる気のなさなど、いろいろな症状に悩まされました。一般社会で働きたいと思った時期もありましたが、どの職業も精神的に不安定で務まらず、あきらめました。ただ、そんな中で日本の資本主義のおかしさを感じ、もういいと思いました。

農業もいろいろな形態があり、ここでは肉牛、酪農、養鶏をやりました。いずれも義務感でやっていた感じが強かったです。野菜をやるようになってから働く意欲が湧くようになったとおもいます。それでも、何回も病院の入院を続けています。ストレスではなく、幻覚、妄想、幻聴で入院する事が多くなりました。

神の事は発病してから考える様になりました。2年前に洗礼を受けました。統合失調症は神の試練だと思っています。そして神はギフトも与えてくれました。それが共働学舎という場でした。

社会福祉法人 月山福祉会

いからししゅう
五十嵐志優さん

ぼくは、今年から牛舎やぼく場、畑の草とりやたねまき、しゅうかくなど外のお仕事もしています。

牛舎では、牛のエサやりやそうじをしています。牛がエサをいっぱい食べてくれるとうれしいです。牛のうんちはくさいけど、スコップでかんばつてあつめています。牛は時々ケンカをしています。さいしょ、もーと鳴いてビツクリしたけどかわいいです。

ぼく場はとても広いのでたくさん歩きます。ぼうをたてたりひもをかけたりにしています。ぼく場はトラックにのって行きます。ぼくは車にのるのが好きなので、ぼく場に行くのが楽しみです。おひるごはんをコンビニで買うのも楽しみです。

畑のお仕事は、あつかったり雨がふつてもかんばつてやっています。

ぼくは、おへやの中のお仕事も好きだけど外のお仕事の方が好きです。りょうさんにいっぱい教えてもらい、これからがんばつて行きたいです。

社会福祉法人 月山福祉会

おの でら だいすけ
小野寺大輔さん

ぼくは、作業所月山で、

農作業の仕事に、取り組んでいます。

とくに今は、草かりを毎日やっています。

最初のころはやり方になんどもなんども、

ちようせんをくりかえし、やっとでおぼえました。

このじきは、大山のペーパー工場や、

ちよすいそうの草かりを、あついで、雨の日も、

取り組むことが大変だなと思いました。

時に牧場の草かりも、まかされることもあります。

今後は、もっとうまくなれるよう、工夫したり、

来年からくるこうはいにも、おしえてあげたいです。



特定非営利活動法人 立野福祉会 障がい者就労トレーニングファーム チャレンジド立野

まえだゆうさく
前田優作さん



そもそのまのきっかけは、診察の結果、私自身に発達性障害があることが発覚したことで、私の父の同級生の方が運営している障害者施設を紹介してもらったことが始まりでした。

最初は不慣れな状態から始まったため、何かと失敗続きでしたが、早いもので10年の年数が経ち、今では作業にも慣れ、関係者の方から褒めてもらった時は、この活動をして改めて良かったと思えた瞬間でした。

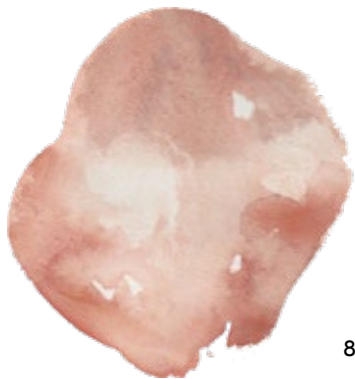
そして今では、施設長とその関係者の方々のお陰で、私も昔から関わっていた絵画制作の活動にも従事し、今後、絵者としての活動の領域をどんどん広げていけたら良いと思っています。

田んぼの草刈の範囲はどい

草刈り機を使って草刈りをしています。ひものつけかたがむずかしいです。

田んぼの草刈は、どこまで草を刈ったらよいか分からず、難しいです。

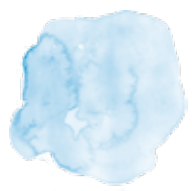
トラックに乗って米の配達や刈った草を捨てに行きます。トラックに乗ってする仕事が好きです。



株式会社 農楽里

いとうゆうこ

伊藤裕子さん



苺ジャムの灰汁取り、かきもちのレンジかけ

いちごジャムの灰汁取りが得意です。

いちごを鍋にかけ、砂糖を入れ、灰汁が出てきたら灰汁取りをします。

かきもちはレンジでチーンとなったら止めます。

公園の草刈りや、かきもちのレンジかけなどに取り組んでいます。

優しく、わかりやすく指導していただけます。

草刈り機（刈払い機）で草を刈り残さず

田んぼのあぜや土手をみんなと一緒に草刈りを行いました。刈り残さず、一生懸命まじめに仕事に頑張っています。僕は、草を丁寧に綺麗に刈ることができません。

芦原温泉駅の近くの歩道のブロックの目地に生えている草に草刈り機の紐（ナイロンカッター）を当てて除草しています。歩道がきれいになりました。

石川県の笠間農園さんで小松菜の収穫等をしました。帰りに金沢駅の百番街で両親と祖母に「あんころ」の土産を買いました。行きも帰りも北陸新幹線に乗りました。とても楽しかったです。来年も行きたいなあ。



淡々と黙々できる作業

田んぼのあぜや公園の草を刈払い機や芝刈り機で綺麗に
しています。

場所によっては芝刈り機で2回草を刈っています。
夏はめっちゃ暑いですが、身体をよく動かし、汗をかい
て気持ちがいいです。



米の袋を綺麗に結ぶ

水稻の播種たねまき、柿の剪定、苗運び、草刈など年間を通して
いろいろな作業をしています。

刈払い機の安全講習を受け、修了証をもらいました。家族に修了証を見せたら、父が「家でも草刈機を買おう」と言い出し、町内会の草刈もしてほしいと言われました。嬉しかったです。

精米作業は、玄米を搬入し、混米タンクに入れ、精米機で精米にします。精米の白度を見ます。次に色彩選別機でカメムシ、しらた等を除いた精米を確認し、精米を計り、袋詰めをしています。ふるさと納税で1日に300袋を詰め、紐を結んだ時は手が疲れましたが楽しかったです。



株式会社 農楽里
さとうけんた
佐藤健太さん



草刈が得意

僕は草刈が得意です。田んぼの二重畔も、土手も、農道もきれいに草を刈ることができます。年間を通していろいろな作業ができることが楽しいです。



株式会社 農楽里

しんでりょうた
新出 凌大さん

綺麗に草刈りができる

最初は刈払い機でうまく草刈はできなかったが、田んぼや公園などで何度も草刈りをしたので、今は綺麗に草刈りができるようになったのでうれしい。

春のお米の種まきでは、機械から出てきた苗箱をパレットに並べる人に渡した。田植えの時は、苗箱に上手に差し板を刺すことができるようになった。よかったなあと思います。



株式会社 農樂里

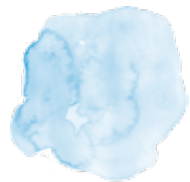
たなかたかゆき

田中孝幸さん

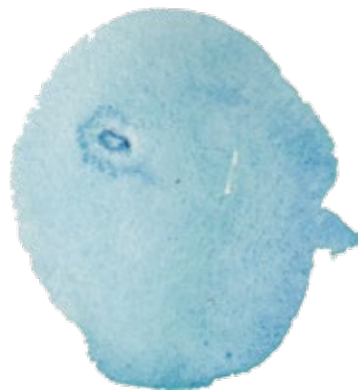
あんぽ柿の真空パック

11月になるとあんぽ柿を作ります。干しあがった柿を小さな袋に入れて3つ並べて真空パックにします。真空があまり強いと柿の汁が出るので調整しています。綺麗にできるようになり嬉しいです。

刈払い機の安全講習を受け、今では畔、土手、農道等の草もきれいに刈れるようになりました。今年の秋はいちごの苗を定植した後の水やりをやりました。



株式会社 農樂里

とくまるりゅうた
徳丸 竜太さん

楽しかった小松菜の収穫と袋詰め

北陸新幹線に乗って石川県の笠間農園さんに行ってきた。笠間農園さんでは、小松菜の収穫、袋詰めを行い、その後、焼き菓子を作っている創楽さんで見学してきました。

得意なことは、早くて綺麗に草刈りができることです。これからもみんなと仲良く、力を合わせて頑張ろうと思います。

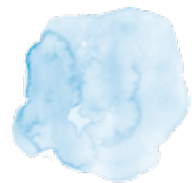


スマート農業で田植え・稲刈

昨年（2023年）からロボット田植え機で水稻の苗を植えました。ハンドル操作が必要ないので、後ろを向いて苗が詰まっていないか、欠株がないか等を確認しました。

田植えをした後は、まっすぐに苗が植えられているので爽快でした。足に少し力が入りました。

ロボットコンバインで稲刈りをしました。トラックに乗っているフレコンにもみを入れるのが難しく、時間がかかりました。もっと経験をして、うまくなりたいです。



株式会社 農楽里

ひ み けんたろう
氷見健太郎さん

お米の袋詰めが得意、
仕事はまじめにやりましょう

乾燥調製施設でお米の袋詰めをしています。大きな乾燥調製施設には、乾燥機、糲摺り機、色彩選別機などがあり、お米はフレコンや紙袋に入れる作業があります。お米（玄米）を紙袋に入れしっかりと紐を結び、はい積をします。袋にお米を入れるときは、こぼさずに慌てず落ち着いて袋を丸めるなどの工夫をしています。

来年はロボット農機安全講習を受け、スマート農業を操作したいです。

一生懸命仕事をする場所です。ふざけたりするとケガをしたり、みんなに迷惑をかけたりますのはだめです。わかんなかったら質問することを心がけています。



メロンの収穫、箱詰め、草刈りが得意

毎年5月にメロンの座布団（緩衝材）敷、6月に収穫、箱詰め、シール張りなどを行ってきました。

田んぼのあぜ・農道・土手等の草刈とクレヨンランド（公園）の草刈はとも難しかったが、きれいにできて、素晴らしい、いい仕事をしたと思います。またやりたいです。

あんぼ柿づくりでは、柿の肩の皮むきとヘタの処理を機械でしています。美味しいあんぼ柿ができるとうれしいです。

株式会社 ウィズファーム

やましたみらい

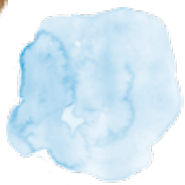
山下未来さん

私は、ウィズファームに来てから、1週間に1回程度ですが、外に出てりんごの摘果、葉摘み、玉回し、収穫などの作業をしています。

農業は疲れますが、仕事したなあと感じる達成感があります。

今後は、スタッフの皆さんと販売に行つて、美味しいりんごをたくさん売りたいです。

りんごの作業は疲れることもあるけど、おもしろいので皆さんにも経験してほしいと思います。



おだたくろう
小田拓郎さん

私は、新しいことや自分の経験したことのないこととも興味があり、職員さんから「小田さん、施設外作業に行ってみませんか？」と声をかけられて、直ぐに「行きたいです。やってみます。」と返事をしました。これまで、室内での作業しか経験したことがなかったので、少し心配でしたが、見学や体験してみても、「やってみたい。できそうだ。」と思いました。

私が参加している作業は、集荷センターでのネギの洗浄投入作業と、農家さんでのにんじくの定植作業・植え付け作業です。ネギの洗浄投入作業では、洗浄後のネギを綺麗に揃えることをがんばりました。また、私は皮膚が弱く湿疹が得意やすいので、軟膏塗布も忘れないようにして作業準備もがんばりました。

事業所内での軽作業と違い、夏はとても暑くて、水で濡れたネギの投入作業は、冬はとても冷たいです。でも、私は暑い夏や寒い冬に負けないようにがんばっています。これからも、色々な作業に挑戦したいです。



社会福祉法人 さぬき市社会福祉協議会 真珠の杜しど

こにしともこ
小西朋子さん



作業所を利用するようになってから早いもので十年以上になります。

今ここでやっているのは、アスパラガスの水やり、にんじくの種まき、苗出し、収穫、後片づけ、はっさくの収穫作業です。

仕事はきつくて辛いですが、作業所はまだマスク生活なので、野外での作業は解放感があつてむしろ楽しいです。

いつか独立して農業してみたいと考えるようになりました。いずれ土地を持って農業がしたいです。

つるみしょうた
 鶴身将大さん

私は3年前から1日4時間ほど、にんにくの作業に携わっています。にんにく農家さんに4名くらいチームで農作業にいきます。農家さんとのコミュニケーションにも不安なく、自分のペースで作業させてもらっているのです。トレスもありません。広めの農地ですが、体力的に問題なく作業にあたっています。作業工程は9月末から10月初旬に種を植えて、11月に芽出し、3月ににんにくの芽切り、5月に収穫します。

工程の中でチームのメンバーによっては、種を植えるときに、植える向き(上下)を間違えてしまうことがあります。この工程を間違えてしまうと、にんにくの成長に支障が出るので間違えることが出来ません。間違っている個所の手直しに時間がかかって困ることもあります。休憩時等、作業場所を離れるとき、植えた個所がわからなくならないように目印を置いて、いろいろと助け合いながら工夫して作業しています。作業前には今日の目標をあらかじめ立てており、それが達成した時は充実感を感じます。先日、バザーで、自分が携わったにんにく商品(黒にんにく)を販売しているのを購入しました。自宅で調理に使ってお客様が商品を手にとるところを想像すると、嬉しい気持ちになりました。これからも農作業に携わり、良い商品を皆さんに届けたいと思います。



私は約3年前からJAの集荷場で青ネギの出荷作業に携わっています。週1回(月曜日)作業時間は約4時間程です。作業は流れ作業で6人から7人で行っています。流れ作業でスピードがあるため、人数が足りない時は次の作業に間に合わず、現場の人の手助けが必要ですが、焦らず丁寧に作業することを心がけています。ネギは季節に關係なく年中作業をしているため、作業工程も繰り返しできるので作業に慣れやすく、納期もないのでストレスはありません。

屋内の作業ため、外の作業に比べて体力的にも無理なくさせてもらえています。農作業で体を動かして外に出る事により体重もあまり増えず、健康的な生活を送れるようになりました。睡眠の質もあがり良く眠れるようになりました。これからも自分の体調管理をしながら農作業にあたれば良いと思っています。



特定非営利活動法人 ほのぼのワークハウス

じげみゆき
地下美由紀さん

はじめは、施設外就労に関わるまでは施設の中だけの農業で仕事をしていました。

でも、ある日職員さんの、外に出て農家さんと関わる仕事（にんにく、キャベツ等）があるんだけど皆やってみたい？との声掛けがあり、「やってみたい」の声が多かったので、やる事になったのがきっかけです。

例えば、にんにくの植え付け、抜き取りだったり、キャベツを運ぶ仕事だったり、とても体力的にもしんどい仕事だと思っていたけど、やっているとおある農家さんが「みんな一生懸命に頑張ってくれてるね」とか、「とても助かるよ」と声をかけてくれた時が、「しんどいけどやってよかったな」ととても嬉しかったし、仕事した達成感があってよかったです。

これからもしんどいと思う事があると思いますが、農家さんのために役に立ってるのなら続けていきたいと思っています。



かわさき じゅんこ
川崎 純子さん

1 概要紹介

私は大屋富町・高瀬・琴平・まんのう・善通寺・国分寺・観音寺に就労しに行っています。主な作業内容としては、水耕栽培（ベビリーフ収穫・定植・播種）、芋の毛取り、にんにくの袋入れ綴じ、定植や収穫、たまねぎの収穫などを行っています。

2 工夫と感想

私が工夫をしていることは、職員に言われた事の手順の確認を行い、丁寧に行うように心がけたり、体になるべく負担がかからない体勢で作業を行うようにしています。私は、施設外就労で様々な場所に行って体を動かしながら作業ができ、気分転換にもなるので楽しいです。これからも参加していきたいです。



なすゆみこ
那須由美子さん

1 概要紹介

私は主に坂出市の大屋富に施設外就労をしに行っています。大屋富では作業はハサミなどを使い、芋の毛取り作業を行っています。また、たまに観音寺市へ行き、ニンニクの袋入れ作業を行っています。

2 工夫と感想

私が一番やりやすく、ミスの出ないやり方を見つけ、職員と相談をし、できるだけ早くするように心がけて行っています。

八幡園の室内作業より、外で作業を行う方が楽しく、室内より人が少なく、静かで作業にも集中できるので、今後できる限り参加していきたいです。



M・Tさん

僕は一人暮らしをしていて、今はやまももに通所しています。日々、農作業を頑張りがいがあります。

畑で定植をしたり、収穫したりするのは大変ですが、その分やりがいがあります。働いてもらったお金を少しずつ貯めています。

そして、そのお金で楽しみにしていることがあります。それは、電車に乗って日帰りの旅をすることです。

この前は、瀬戸大橋を渡って、一駅だけ新幹線に乗りました。瀬戸大橋を渡るときの景色はともきれいで、わくわくしました。新幹線に乗ると、短い時間でも特別な気分になって、毎日の疲れを忘れられます。

この小さな旅が、僕にとっての大きな楽しみです。これからも、一生懸命働いて、この楽しみを続けていきたいと思っています。



特定非営利活動法人 はあと

そねひさよし
曾根久敬さん



- ・内職作業は苦手だが、施設外農作業は楽しく頑張れる。
- ・農家さんやJAの方など、とてもやさしく気づかってくれる。
- ・職員さんが、やさしく、暑さ対策（こまめな休憩、テントなど）を考えてくれている。
- ・雑草が多過ぎの玉ねぎ収穫は、「まいった」。
- ・今後もずっと農福連携作業があれば、うれしい!!



特定非営利活動法人 はあと
ちよだひでお
千代田英男さん



- ・施設外農福連携作業は、NPO法人はあとの利用者さんにとっても、施設にとっても良いと思うから、大好きだし、やりがいがある。
- ・にんにく収穫作業が、個人的にも特にやる気がみなぎる。
- ・楽しく作業が出来ている。
- ・皆で協力し、助け合って作業を行い、予定していた作業をやり切ることが出来た時には、特に達成感を感じることが出来る。



特定非営利活動法人 はあと

とよしまゆう き
豊嶋友稀さん



- ・最初の頃は、体力もなく、作業も苦手だったが、
続けているうちに、体力もつき、出来る作業も増えて、
楽しくなり、自信もついた。
- ・作業も頑張って、工賃アップで、やりがいがある。



特定非営利活動法人 はあと
まなべひでみ
真鍋秀美さん



- ・農福連携作業は好き。
- ・農家さんの「ありがとう」という言葉が
とてもうれしかった。
- ・トイレの心配がある！



特定非営利活動法人 はあと
むらかみせいじ
村上誠司さん



- ・にんにく作業やセロリ作業など、仕事をさせていただき、とても感謝!!
- ・他施設の方と田んぼで一緒になることがあり、作業の取り組み方など、参考になることがある。
- ・他施設が助けてくださることがあり、とても感謝。
- ・にんにくや玉ねぎの収穫を行う時に雑草が多すぎる時は、作業を行うモチベーションがさがってしまうので、どうかしてもらいたいです。



特定非営利活動法人 はあと
やまもとやすお
山本康夫さん



- ・ NPO法人はあとが農福連携に取り組みだした当初は、自分もふくめて2〜3人での作業だったが、今では、作業人数も増えて、うれしい。
- ・ 内職作業だけの時よりも、施設外農福連携の作業をさせてもらってからのほうが、楽しく、工賃もアップして、やりがいもある!!
- ・ 内職よりも施設外農作業のほうが、自分には合っている。
- ・ 施設外農作業を一生懸命していると、時間が過ぎるのがとても早い!!



一般社団法人 こうち絆ファーム 多機能型事業所 TEAM あき

くわなひとみ
桑名仁美さん

【作業の内容】

ナスの袋詰め

へぐり作業

【達成感を感じること】

作業が綺麗にできると気持ちがいい。
やればやるほど工賃につながるとき。

【今後どうしていきたいか】

今の仕事とB型を長く続けていきたい。
いろんな人と関わって役に立ちたい。

【みんなに伝えたいこと】

こうち絆ファームで規則正しい生活をするので楽しく生きられるようになれば良いと思います。



一般社団法人 こうち絆ファーム 多機能型事業所 TEAM あき

まちだゆうみ
町田優美さん

【作業の内容】

ナスの手入れ・収穫・袋詰め
へぐり作業

【達成感を感じる】

みんなで協力してハウスの作業を最後までやり遂げられた
とき。

【今後どうしていきたいか】

お金を貯金する。

ハウスを今以上に覚えてやっていきたい。

【みんなに伝えたいこと】

こうち絆ファームに来ている人は色々なものを抱えている
ので、明るい職場にしたいです。そうすると楽しくなると
思います。



いまむら けんすけ
今村 謙佑さん

農業が好きで農業法人に就職したけど、体調を崩して K's ファームで働くようになりました。K's ファームでは、スタッフが一人ひとりの性格や特性に合わせて教え方を考えてくださっているので、とても良いと思います。

年間を通じていろいろな作業があるけど、少しずつできる作業を増やして、作業時間も増えて、社会保険に加入して働くことができます。

仕事のことやそれ以外の悩みがある時も話を聞いていただけなので、気持ちが悪くなりません。

夏の作業は、空調服を活用して休憩もこまめにとり、熱中症にならないようにしています。

菊やシンテツポウユリの出荷作業は、難しいこともあるけどとてもやりがいがあります。花切りの時に良い悪いの判断が確に早くできるようになりたいと思います。毎の作業は得意です。作業速度を上げることが目標にしています。

作業をしに行った農家さんから「ありがとう」「来てくれて助かった」等の声をかけられると仕事をしていて良かったと思えます。これからも丁寧な仕事を心掛けていきたいです。



えぐち ゆ か
江口由香さん

私は18歳からずっとK'sファームのお仕事をやってきました。

一番やりがいを感じるのは菊の芽摘みです。最初に芽摘みをしたのは学校の職場実習の時です。難しくて、自分でも覚えたい、出来るようになりたいという気持ちがあったので、卒業して働き始めてからもずっと努力して1〜2年ぐらいかけて、やっとできるようになりました。

職員に何度も質問していっぱい教わって、少しずつできて、いっぱいほめられて、私の中で菊の芽摘みが一番やりがいを感じました。

K'sファームと一緒に頑張っているメンバーから「田香さんみたいに上手になりたい」と言われたときが一番うれしかったです。努力して頑張って本当に良かったと思いました。

私には、一緒に働いてくれる仲間がいます。仕事の中で、困っている人を見つけたら全力でサポートしてあげて一緒に頑張っていきたいです。私も最初は、仕事の先輩や職員の方にいろいろ教わってきました。だから、また新しく入ってくれる人にもやさしく教えて支えてあげたいです。

K'sファームでする農業は楽しい仕事です。これからも仕事頑張りたいです。



一般社団法人 THE CHALLENGED 就労継続支援 A 型事業所 K's ファーム

かいたいき
甲斐大貴さん

障害を持っていて、就職先を見つけるのが難しかったから B 型から始めました。

農作業は初めてだったけど丁寧に教えてもらってよかったです。ここでなら働けそうだと思います。職員の方はとても親しみやすく、楽しくお話しすることができていいと思います。

A 型で働くのを目標にして、K's ファームに施設外支援に行きました。週 1 回から始めて 2 年間で少しずつ日数を増やして体力も付きました。いまでは、A 型でしっかりと働くことができます。

菊、いちご、レタス、さつまいもの定植、キャベツ、ホウレンソウ、小松菜、たまねぎなどの収穫、調製、草取りや道具の片づけなどのしごとがあります。汗だくになりながらがんばり、仕事を終わらせた後で、農家さんから感謝の言葉を言われるととてもうれしいです。

これからもみんなと頑張りたいです。



一般社団法人 THE CHALLENGED 就労継続支援 A 型事業所 K's ファーム

にしやまかずひろ
西山和宏さん

高等部1年生の時から3年間、職場実習でK'sファームにきました。楽しくて、早く働きたくて、卒業式の次の日から働いています。もう10年働いているので、できることがいっぱい増えました。

K'sファームは菊とシンテツポウユリを作っています。一番好きで得意な作業は、菊の芽摘みです。上手に早くするのが楽しいです。みんなが「上手だね。早いね。」ってほめてくれます。

作業はほかにもいろいろあります。たくさん契約している農家さんからのまわっているような作業をします。いちごの作業は、最初は難しかったけどできるようになりました。ほうれん草の収穫や玉ねぎの収穫作業は楽しいです。ほうれん草を収穫して、きれいにコンテナに入れることができます。広い畑で玉ねぎをきれいに並べていくのが好きです。農家さんから「頑張ってくれてありがとう。助かった。またおねがいします。」って言われるので「はい。また来ます。」っていいいます。

K'sファームのお仕事は、みなさんと協力して、助け合える仕事です。これからもできることをいっぱい増やしたいので、新しい作業に取り組みます。



はらあさか
原朝夏さん

私は以前から農作業が好きで、植物を育てることでやりがいや達成感がえられるので、K'sファームに入社しました。K'sファームでは菊の生産、花切り、農作物の手入れ作業などがあって、たくさんの植物と触れ合う機会があります。

スタッフの方たちは、メンバーさん一人ひとりのことを常に考えてあり、作業の手順をわかりやすく、丁寧に教えていただいています。

作業はチームで行動することが多いので、一緒に働く仲間と協力しながら作業時間内に効率よく取り組めるように意識しながら行っています。

最近は難易度の高い作業に挑戦することを目標としていますので、自分から積極的に花切りに挑戦しています。

仏花用の花パックの出荷業務も行っています。売価を他の生産者と比べながら出荷して、完売につなげられるように自分で考えて取り組んでいきたいです。

K'sファームの仕事は楽しくて、やりがいがあって大好きです。まだまだのところはありますが、今後とも上司やスタッフの教えを活かしながらスキルを高めていこうと思います。



匿名希望さん

『命と向き合うこと』

私は今、「あいりん」の鶏舎で対馬地どりの飼育をしています。普段の作業は、鶏の給餌や鶏舎内の清掃等です。僕はこの作業を通して、アニマルウェルフェアを知りました。動物福祉とは動物が快適な環境で生きられるようにしていくものです。例えば、鶏がストレスを感じないようにきれいな水や新鮮な餌を与えること、温度管理をきちんとすることもそうです。それは、食用としての鶏としてだけではなく、一つの命として育て上げることです。

ただ単に鶏を飼育するだけではなく、より良い環境で育て上げるといふことを通して、自分自身がどう生きていくのかを考える機会にもなっています。命をどう扱うかということ、自分の命や仲間、様々な生き物の命について考えるようになり、他者や自然など様々なものの中で自分自身が生かされていると考えるようになりました。

更に周りの様々な命や自然が有難く思え、命や自然をもっと大切にしたいと考えるようになりました。まだまだ、今の自分自身は達成できていないですが、人にも動物にも自然にもより優しい飼育方法で育てたいと思っています。

自分の取組みはほんの一部であり、目の前の鶏に対してより優しく飼育することしか出来ていないですが、同じ気持ちの人が増えることで、畜産全体が高まり社会全体が活性化すると良いと思っています。



社会福祉法人 南高愛隣会 就労継続支援 B 型事業所 WORK うんぜん

しらいしよしひと
白石義人さん

僕は、仲間といっしょにアスパラガスをさいばいしています。朝8時からしゅうかくし、夕方2回目のしゅうかくをします。1日2回のしゅうかくを毎日続けています。

ハウスの中の仕事はとても暑いです。汗がたくさん出ます。きついときは仕事を休みたいなと思う時があります。そんな時は皆が僕の仕事を手伝ってくれます。「ゆっくりいいよ」と声をかけてくれます。僕はとっても嬉しくなります。

僕がしゅうかくしたアスパラガスを、お客さんが「おいしかったよ」「ありがとう」と言ってくれます。僕は自分の仕事が好きになりました。もっとがんばろうと思いました。

これからもたくさんのお客さんに喜んでもらうことが、僕のゆめです。

就労継続支援 B 型事業所 フローラ

まぶちりか
真 瀨 里 香 (仮 名) さん

私は、6年前くらいからニラの作業に行っています。最初は椅子に座って作業をすることもありました。でも、今は立ったままで作業をしても大丈夫です。

作業は重さを量ることと束をゴム留めすることです。重さを量ることが苦手なのでこれからチャレンジしたいと思います。

また、私は農家の人の名前が気になってしまいます。作業をしながら「次は〇〇さん」という声が聞こえると、なぜかドキドキして、そしてだんだん気分が滅入っていました。施設の職員の人に相談したら、「どうしてそのような気分になるんですか？」と聞かれたので、「〇〇さん、〇〇さん、〇〇さんといっぱいいるので、ニラをどこに持っていけばいいかわからなくなるんです。」と答えました。そしたら、その都度持つていく場所をカードに書いて見えるようにしてくれました。不安がなくなりましたので、これからも頑張りたいです。



社会福祉法人 やまなみ福祉会 ハートピアきむれ

きむれ^{たろう}太郎（仮名）さん

夏の暑い中、カボス収穫の作業がスタートしましたが、毎日が充実しており、作業も楽しんでます。この仕事をただで、感謝の気持ちと労働意欲が湧いてきて、毎日が楽しいです。

最初は大きなカボスの実の摘果作業で、選別に苦労しましたが、慣れてしまえばお手の物になりました。万全な管理のおかげで、カボスも素晴らしい出来栄で、収穫がスムーズでした。今まで色々なカボスの収穫をしてきましたが、今収穫中のカボスが一番良いと感じています。

また、素晴らしい環境で作業できることに感激しています。50歳を過ぎて体力的に不安でしたが、この作業は全くきつくなく、空調機付きのチョッキのおかげで、暑さも気になりません。最初は1か月の作業ということでしたが、体力的には全然平気で、この作業がずっと続けばいいなと思っています。

働けること自体に感謝し、これからも良いお付き合いをして、お互いに切磋琢磨して頑張りたいです。今後ともよろしく願います



社会福祉法人 やまなみ福祉会 ハートピアきむれ

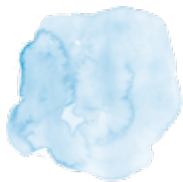
やまなみ^{じろう}次郎（仮名）さん

約一年間、やまなみ福祉会にお世話になっていますが、ここでの労働環境は非常に良好です。職員の方々は、体調の変化が激しい利用者のニーズに応じて柔軟に対応してくれます。早退や欠勤、さらには食事の配達といった管理業務も多く、大変な思いをされていると思いますが、その姿勢には感謝しています。

また、職員さんたちは利用者のために、人数分の空調服のセットや洗濯まで行ってくれるなど、細やかな配慮をしてきています。こうした労力が、快適な環境を作り出していると感じます。

依頼主との関係も非常に良好です。カボスの収穫や草刈り、しいたけの駒打ちといった作業を行う中で、トイレ環境や休憩所を整備してくれたり、お茶や間食を用意してくれる方もいます。特に、駒打ちの際には、クヌギの木の束を運ぶための重機やリフトを用意してくれるなど、サポートが手厚いと感じています。これだけの支援を受けながら、福祉職員として働けることは本当に素晴らしいことです。

ただ、こうした至れり尽くせりの環境に甘えすぎないようになりたいと思っています。自分自身が早めに一般就労を決めて、良い結果を出せるように努力することが大切だと感じています。今後も、感謝の気持ちを忘れずに、成長を目指して頑張りたいと思います。



特定非営利活動法人 豊野やすらぎ会

やすらぎ（ニックネーム）さん

私は、トマト、ピーマン、カボス収穫などの作業をしています。ピーマンの作業に久しぶりに行ったのですが、朝から何をするのか全くわかりませんでした。指導員の方が指示してくれたおかげで、何とかついていくことができました。

カボス狩りや施設外就労の際、キーパーの麦茶を独り占めしてしまう悪い癖がなかなか治りません。その中でも、作業の時に水を飲む分だけは働くように心がけました。例えば、カボス狩りの後の片づけなどです。水を飲む分、頑張って期待に応えたいと思っています。

指導員の方の指示がわかりやすく、一生懸命頑張れました。カボス狩りの時は作業が遅くてついていくのが難しいですが、コンテナの運び屋として頑張りたいです。カボスの木にはトゲがあるのが苦手ですし、トマトやピーマンの作業は、長くやっている人の方が上手にできると感じます。

カボスの入ったコンテナを運び出すのが大変です。コンテナを運び出す際に使う自動式パッカーなどがあればいいなと思います。



社会福祉法人 白鳩会 第2花の木ファーム

はしもと としあき
橋元 利秋さん

私は昭和57年3月29日に施設に入所しました。

農耕班の仕事で野菜や大根、ジャガイモなどを作ったりしました。セメントと砂を混ぜてそれを台車に入れて、カップで分量を量って機械に入れて、瓦を作ったりしました。瓦施工に入ったたり、ブロックを作ったり、それからお茶の仕事をして色々と学びました。お茶とハムの仕事をして色々と覚えたりしました。

それと楽器もしていました。週3回練習をして、月・水・金でした。イベントに演奏をしに行ったりして楽しかったです。ちなみに自分はトランペットをして、最初は音が出る心配でした。マウスピースだけで練習を重ねて、吹けるようになりました。

病気になるって、花の木で作業をして色々な活動をしています。点つなぎと切り絵などをしたりしています。また、水曜と木曜の朝9時から10時までハムの作業が出来るようになりました。





表紙：社会福祉法人 パステル 多機能型事業所 CSW おとめ（栃木県小山市）齊藤 一 さんの作品

一般社団法人 日本農福連携協会

〒 102-0083 東京都千代田区麹町 3-5-5
サンデンビル 6 階 B 室
03-6272-8839
info@noufuku.or.jp

この冊子は、農林水産省の令和 6 年度「農山漁村振興交付金」を活用して作成しています。